



午前中授業でこどもも職員もゆとり確保

「学校改革！教職員の時間創造プログラム」の具体的取組項目の一つに、「年間授業時数の見直し」を掲げ、予備時数0を目標に取組を進めています。また、今年8月文部科学省より緊急提言が出された「教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策」の中にも、「各学校における授業時数や学校行事の在り方の見直し」が掲げられており、改善の必要性がうたわれています。

今回は、年間授業時数・日課・学校行事等、教育課程の総合的な見直しの一環として、午前中授業を積極的に実施し、時間を生み出されている学校の取組を紹介します。

城西小学校の取組

【実施日】

長期休業明け3日間～4日間（8月末・1月初）
事務整理時期3日間（9月末・3月末）

【特徴】

- ・2学期や3学期のスタート時の長期休業明けは、午前中授業を実施しながらこどもの様子をしっかりと観察。
- ・夏休みの宿題の確認等、事務整理の時間を確保。
- ・ゆっくりとリズムを取り戻すことができる。

西山中学校の取組

【実施日】

『スーパー家庭の日』
月曜日（月1回～2回程度）

【特徴】

- ・毎週月曜日を『家庭の日』と名付け、ノー部活デーを実施。さらに月1回をベースに『スーパー家庭の日』と名付けた午前中授業を実施。
- ・個別指導や委員会活動、必要に応じて、職員会議等が入る。

城西小学校・西山中学校の先生方へインタビュー



まずはいろいろやってみるといいかなと思います。

自分たちの仕事も、本当に必要なのか？やらなければならないのか？という気持ちで見直してみることも必要なのかもしれませんね。

城西小 濱崎 督之 教頭

長期休業明けの午前中授業により、こどもたちの精神的負担が随分軽くなっているように感じます。保護者からも好評です。

先生方には、笑顔で楽しんで仕事をしてほしいです。その姿を見たこどもたちが、『先生っていいなあ。なりたいなあ。』と思ってもらえたら嬉しいです。

城西小 松永 憲治 校長



学校独自の取組があることで、先生方が誇りをもってお仕事をされているような気がします。先生方の心の効果がとても大きいです。

今後は、議題を精選し会議の回数を削減していくような取組も行っていきたいです。

西山中 坂田 秀一 教頭



時間割の工夫をしながら、月1回をベースに可能な月は2回実施しています。こどもも先生方もゆったりとした気持ちになれます。確実に効果はあると思います。

西山中（教務主任） 川口 信吾 教諭

気持ちのゆとりができたことが、一番の効果です。学年会や打ち合わせなどを行うこともありますが、勤務時間内に落ち着いてできます。

西山中（学年主任） 石塚 環 教諭

精神的なゆとりができ、教員同士の会話が増えたように思います。子どもたちも、日々忙しくしているので、『スーパー家庭の日』は喜んで帰っています。

西山中（学年主任） 藤川 邦弘 教諭

